



山花 剛 議員
(無党派)



一般質問

■仮設住宅の次の住まいについて
自宅の再建が困難な方への対応を伺う。

質 仮設住宅に入居している方から、高齢であることや既にローンがあるなどの問題から、仮設住宅の入居期間である2年で自宅が再建できるかどうか分からないという不安の声をいただいている。
こつこつとした自宅の再建が難しい世帯の今後の住まいについて、どのような計画があるのか伺う。

答 自力で住宅を確保できない世帯には、災害公営住宅の供給を図る必要があると考える。今後、仮設住宅やみなし仮設住宅の入居者のうち、半壊以上の世帯を対象として、住まいの再建の意向調査を実施し、災害公営住宅の必要個数等を確認していきたいと考える。

そのほか、仮設住宅の中にはモバイルハウスやムービングハウスといった移動可能なものもあり、使用期間終了後にその活用並びにその設置場所なども考慮しながら検討していきたいと考えている。

ただし、住宅本体や設置費用、移設費用等の費用も発生するという懸念もあるため、今後、県やメーカーとも協議をしていきたいと考えている。



瀬戸 三代 議員
(あすなろ)



一般質問

■被災者に寄り添って現場で強く感じたこと
**情報弱者のために相談員配置を！
若者の活躍で地域に元気を！**

質 ①パソコン弱者が情報弱者とならないために、被災者に『寄り添って』相談員を地域に配置してはどうか。
②鵬学園高校が、スポーツをはじめ、特にサッカーで県外から生徒を受入れ、魅力ある学校づくりを行っている。このことは『若者の活躍で夢と希望』を与え、地域に元気を与えてくれるものと確信している。鵬学園高校の体育館や合宿場などが壊滅的狀態であり、それに対してどのような対応をするのか伺う。

答 ①被災者支援の申請方法は、窓口、オンライン、郵送など申請者に見合った方法を選ぶことが可能である。パトリア4階に開設している総合支援窓口では制度や申請について説明を行っている。電話での問合せに対応したコールセンターも開設しており、いずれの方法においても被災者に寄り添った対応を心掛けていくので、気軽に問い合わせしてほしい。

②市としては、国の災害復旧事業やその他の支援メニュー等を活用し、早期に元の教育環境を取り戻していただきたいと考える。その上で、また御相談があれば、国や県にも働きかけをしていきたい。



原田 一則 議員
(灘会)



七尾港湾

一般質問

■能登半島地震の復旧見通しについて
一日でも早く復旧を！

質 能登半島地震が発生し、港湾・漁港施設も大きな被害を受けている。6月会議においても、約70億円の補正予算の大部分が震災対応、災害復旧に計上されている。その中で、七尾港をはじめとする港湾・漁港施設の復旧状況と復旧時期について伺う。

答 七尾港湾区域内にある矢田新第一、第二埠頭では、岸壁のゆがみや埠頭用地の陥没により一部使用不能な状態となっている。これらの岸壁や埠頭用地の復旧時期については、国・県によると、おおむね2年以内での復旧完了を目指していると聞いている。
また、石川県管理の漁港施設については、被災箇所を現在調査中で、速やかに災害査定を受け、一日でも早く工事着手できるよう努めるといふふう聞いています。

次に、七尾市管理の港湾・漁港施設で被災を受けた2港、12漁港、2の船だまりとなっており、これらの施設の復旧は、災害復旧事業により対応する予定であるが、そのうち2港・7漁港施設の陥没、段差等については、適宜、地元や漁業協同組合と相談し、応急工事により対応しているところである。
なお、災害復旧事業を進めるに当たり、被害が甚大で復旧件数も多いため、国・県の指導、他自治体支援職員の協力を得ながら、現地査定は年内完了をめどとし、一日でも早い工事着手・完了に取り組んでいきたいと考えている。